

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	1	
授業科目	ガソリン・エンジン構造学 I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	総論①
	2	総論②
	3	エンジン本体① 概要
	4	エンジン本体② シリンダヘッド
	5	エンジン本体③ シリンダ及びシリンダ・ブロック
	6	エンジン本体④ ピストン、ピストンピン
	0.5	前期中間試験
	7	エンジン本体⑤ クランクシャフト、フライホイール
	8	エンジン本体⑥ バルブ機構
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	2	
授業科目	ガソリン・エンジン構造学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	潤滑装置①、燃料及び潤滑剤
	2	潤滑装置②
	3	潤滑装置③
	4	冷却装置①
	5	冷却装置②
	0.5	後期中間試験
	6	燃料装置①、燃料及び潤滑剤
	7	燃料装置②
	8	燃料装置③
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	3	
授業科目	ジーゼルエンジン構造学 I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	エンジン総論① 内燃機関の概要
	2	エンジン総論② 作動・燃焼方式
	3	エンジン総論③ 燃焼状態・圧力の変化
	4	エンジン総論④ 排出ガス対応策
	5	エンジン総論⑤ 排出ガス浄化装置
	0.5	後期中間試験
	6	エンジン本体① 構造・機能
	7	エンジン本体② 潤滑装置
	8	エンジン本体③ 冷却装置
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	4	
授業科目	シャシ構造学A I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	動力伝達装置① 概要
	2	動力伝達装置② クラッチ
	3	動力伝達装置③ マニュアルトランスミッション
	4	動力伝達装置④ オートマチックトランスミッション
	0.5	前期中間試験
	5	動力伝達装置⑤ プロペラシャフト
	6	動力伝達装置⑥ ディファレンシャル
	7	動力伝達装置⑦ LSD
	8	動力伝達装置⑧ トランスアクスル・ドライブシャフト
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考	三級自動車シャシ	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	5	
授業科目	シャシ構造AⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	4輪駆動装置① トランスファ
	2	4輪駆動装置② パートタイム4WD・フルタイム4WD
	3	シャシスプリング①
	4	シャシスプリング②
	5	ショックアブソーバ・スタビライザ
	0.5	後期中間試験
	6	アクスル及びサスペンション① 概要
	7	アクスル及びサスペンション② 車軸懸架式
	8	アクスル及びサスペンション③ 独立懸架式
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	6	
授業科目	シャシ構造学B I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	油圧式ブレーキ装置① 概要
	2	油圧式ブレーキ装置② 性能・現象
	3	油圧式ブレーキ装置③ 油圧式フットブレーキ
	4	油圧式ブレーキ装置④ 制動倍力装置
	5	油圧式ブレーキ装置⑤ Pブレーキ・補助ブレーキ
	0.5	前期中間試験
	6	エア式ブレーキ装置①
	7	エア式ブレーキ装置②
	8	エア式ブレーキ装置③
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考	三級自動車シャシ	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	7	
授業科目	シャシ構造B II	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	A B S 装置① 概要・基本構成
	2	A B S 装置② 制御原理 I
	3	A B S 装置③ 制御原理 II
	4	A B S 装置④ 構成部品・作動
	5	A B S 装置⑤ 作動
	0.5	後期中間試験
	6	スタビリティ・コントロール
	7	トラクション・コントロール
	8	予防安全装置 被害軽減ブレーキ
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	8	
授業科目	自動車工学 I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	自動車に関する計算を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	計算方法を理解し、計算結果が出せるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	自動車数学① トルク
	2	自動車数学② 変速比
	3	自動車数学③ プーリ比
	4	自動車数学④ 車速・駆動力
	0.5	後期中間試験
	5	自動車数学⑤ 平均速度
	6	自動車数学⑥ 燃費
	7	自動車数学⑦ バルブリフト
	8	自動車数学⑧ バルブタイミング
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	9	
授業科目	自動車工学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	21.6時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する工学を理解し、計算できるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	基礎的な原理と法則① オームの法則
	2	基礎的な原理と法則② 電力・磁力・電磁力
	3	自動車諸元① 寸法・排気量・圧縮比
	4	自動車諸元② 変速比・駆動力
	5	自動車諸元③ 走行抵抗Ⅰ
	6	自動車諸元④ 走行抵抗Ⅱ
	0.5	前期中間試験
	7	基礎工学① 重心Ⅰ
	8	基礎工学② 重心Ⅱ
	9	基礎工学③ 軸重Ⅰ
	10	基礎工学④ 軸重Ⅱ
	11	基礎工学⑤ 軸重Ⅲ
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	10	
授業科目	電気・電子理論	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	電気・電子の理論を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電気・電子の理論を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	電気と磁気① 電子、電流、電圧、電流の三作用
	2	電気と磁気② 電源と起電力、直流と交流、電気抵抗
	3	電気と磁気③ 電気回路、電気図記号
	4	電気と磁気④ オームの法則①
	5	電気と磁気⑤ オームの法則②
	6	電気と磁気⑥ オームの法則③
	7	電気と磁気⑦ 磁気、磁界及び磁力線、磁束と磁束密度、電流による磁界
	8	電気と磁気⑧ コイル、電磁力、電磁誘導
	0.5	前期中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考	基礎自動車工学	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	11	
授業科目	電装品構造学 I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	電装品の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	半導体① 概要、P型半導体及びN型半導体、ダイオード
	2	半導体② ツェナダイオード、発光ダイオード、フォトダイオード
	3	半導体③ トランジスタ、フォトトランジスタ、サーミスタ、IC
	4	バッテリー① 概要、構造
	5	バッテリー② 極板及び極板群、電槽、ふた、電解液
	6	バッテリー③ 機能 放電、充電、容量、自己放電
	7	バッテリー④ 形式
	8	バッテリー⑤ 整備
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考	三級自動車ガソリン	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	12	
授業科目	電装品構造学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	始動装置① 概要・特性
	2	始動装置② 構造・作動
	3	点火装置① 概要・点火装置種類
	4	点火装置② スパークプラグ・ハイテンションコード
	0.5	後期中間試験
	5	充電装置① 概要
	6	充電装置② 構造
	7	充電装置③ 制御Ⅰ
	8	充電装置④ 制御Ⅱ
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	13	
授業科目	整備作業機器	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	整備作業機器の構造や取扱いを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	整備作業機器の構造、機能を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自動車の機械要素 ねじ
	2	基本作業① スパナ、モンキレンチ、めがねレンチ、ソケットレンチ
	3	基本作業② ヘキサゴンレンチ、パイプレンチ、トルクレンチ、ドライバ
	4	基本作業③ ハンマ、プライヤ、ギャプーラ、ベアリングプーラ
	5	基本作業④ スライドハンマ、たがね、プレス、バイス
	6	基本作業⑤ やすり、弓のこ、リーマ、ベンチグラインダ
	7	基本作業⑥ ドリル、電動ドリル、卓上ボール盤
	8	基本作業⑦ タップ、ダイス
	0.5	前期中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考	基礎自動車工学、基礎自動車整備作業	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	14	
授業科目	工業計測	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	計測機器の構造や取扱いを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	計測機器の構造、機能を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	測定作業① スケール、ノギス
	2	測定作業② マイクロメータ
	3	測定作業③ ダイヤルゲージ
	4	測定作業④ シリンダゲージ
	5	測定作業⑤ ダイヤルゲージ付きトースカン、シックネスゲージ
	6	測定作業⑥ スパークプラグギャップゲージ、プラスチックゲージ
	7	測定作業⑦ 定盤、Vブロック
	8	測定作業⑧ スコヤ、ストレートエッジ
	0.5	前期中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考	基礎自動車整備作業	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	15	
授業科目	図面 I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	図面の読み方及び書き方・各記号や線の理解	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	図面の理解・製図の習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	製図の基本① 概要・図形の投影方法
	2	製図の基本② 線の種類と用途・図形の配置
	3	製図の基本③ 寸法記入・寸法補助記号
	4	三角法での製図①
	5	三角法での製図②
	6	ねじの製図①
	7	ねじの製図②
	8	ねじの製図③
	9	ねじの製図④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	16	
授業科目	ガソリンエンジン整備法	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	ガソリンエンジンに関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	電子制御式燃料噴射装置① 概要
	2	電子制御式燃料噴射装置② 燃料系統
	3	電子制御式燃料噴射装置③ インジェクタ
	4	電子制御式燃料噴射装置④ 吸気系統
	5	電子制御式燃料噴射装置⑤ スロットルボデー
	6	電子制御式燃料噴射装置⑥ I S C V
	7	電子制御式燃料噴射装置⑦ 電子制御式スロットルボデー
	0.5	前期中間試験
	9	電子制御式燃料噴射装置⑧ 制御系統 センサ I
	10	電子制御式燃料噴射装置⑨ 制御系統 センサ II
	11	電子制御式燃料噴射装置⑩ 制御系統 噴射制御 I
	12	電子制御式燃料噴射装置⑪ 制御系統 噴射制御 II
	13	電子制御式燃料噴射装置⑫ 制御系統 噴射制御 III
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	17	
授業科目	ジーゼルエンジン整備法	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンに関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンの構造と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	機械式燃料装置① 概要
	2	機械式燃料装置② 列型インジェクション・ポンプ
	3	機械式燃料装置③ 分配型インジェクションポンプ
	4	機械式燃料装置④ プランジャ作動・制御
	5	機械式燃料装置⑤ タイマ・ガバナ・フィードポンプ
	6	機械式燃料装置⑥ スロットルノズル
	0.5	前期中間試験
	7	コモンレール式燃料噴射装置① 概要
	8	コモンレール式燃料噴射装置② 構造・機能
	9	コモンレール式燃料噴射装置③ サプライポンプの作動
	10	コモンレール式燃料噴射装置④ コモンレール
	11	コモンレール式燃料噴射装置⑤ インジェクタの作動
	12	コモンレール式燃料噴射装置⑥ センサ I
	13	コモンレール式燃料噴射装置⑦ センサ II
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	18	
授業科目	シャシ整備法A	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	車体整備に関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	車体の構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	アクティブ・コントロール・サスペンション 構造・機能
	2	エア・サスペンション① 概要
	3	エア・サスペンション② 構造
	4	エア・サスペンション③ 機能
	5	エア・サスペンション④ 作動
	6	サスペンションの性能① 振動・乗り心地
	7	サスペンションの性能② ボデー振動
	0.5	前期中間試験
	8	ホイール・アライメント① 概要
	9	ホイール・アライメント② キャンバ
	10	ホイール・アライメント③ キングピン傾斜角
	11	ホイール・アライメント④ キャスタ
	12	ホイール・アライメント⑤ トー・イン、ターニングラジアス
	13	ホイール・アライメント⑥ 4輪アライメント
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	19	
授業科目	シャシ整備法B	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	車体整備に関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	車体の構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	ホイール① 概要・基本構造
	2	ホイール② 種類・規格・取り付け
	3	タイヤ① 基本構造・トレッドパターン
	4	タイヤ② 諸元・構造や用途によるタイヤの分類
	5	タイヤ③ 諸特性 たわみ・緩衝作用・転がり抵抗・発熱
	6	タイヤ④ 諸特性 振動・騒音・偏摩耗
	0.5	前期中間試験
	7	フレームとボデー① 概要
	8	フレームとボデー② フレーム付きボデー
	9	フレームとボデー③ モノコック・ボデー
	10	フレームとボデー④ 分野別問題
	11	ボデー外装① フード・ドア
	12	ボデー外装② ガラス・バンパー
	13	ボデー外装③ 分野別問題
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	20	
授業科目	電装品整備法	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	自動車電気装置に関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車電気装置の構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	ボデー電装品① ヘッドランプ
	2	ボデー電装品② 車幅灯・尾灯・番号灯・後退灯
	3	ボデー電装品③ ストップ・ランプ・方向指示器・ホーン
	4	ボデー電装品④ ワイパ・ウォッシャ
	5	ボデー電装品⑤ イモビライザ・キーレスシステム
	0.5	前期中間試験
	6	計器① 概要
	7	計器② 速度指示器・距離計
	8	計器③ 各種ゲージ機構
	9	計器④ 燃料計
	10	計器⑤ 水温計
	11	計器⑥ 油圧計
	12	計器⑦ エンジン回転計
	13	計器⑧ 各種警報装置
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	21	
授業科目	故障診断学ガソリンエンジン	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	ガソリンエンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	吸排気装置① 概要
	2	吸排気装置② インレット・マニホールド、エキゾースト・マニホールド
	3	吸排気装置③ エキゾースト・パイプ及びマフラ
	4	吸排気装置④ 触媒コンバータ
	5	吸排気装置⑤ 2次空気導入装置、EGR装置、ブローバイ・ガス還元装置
	6	吸排気装置⑥ 過給機、インタ・クーラ
	7	吸排気装置⑦ 可変吸気装置
	0.5	後期中間試験
	8	分野別問題集① エンジン本体
	9	分野別問題集② エンジン本体
	10	分野別問題集③ エンジン本体
	11	分野別問題集④ 潤滑装置
	12	分野別問題集⑤ 冷却装置
	13	分野別問題集⑥ 燃料装置
	14	分野別問題集⑦ 燃料装置
	15	分野別問題集⑧ 燃料装置
	16	分野別問題集⑨ 吸排気装置
	17	分野別問題集⑩ 吸排気装置
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	22	
授業科目	故障診断学ジーゼルエンジン	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置① 概要
	2	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置② 特徴
	3	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置③ 燃料システム
	4	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置④ 作動Ⅰ
	5	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置⑤ 作動Ⅱ
	6	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置⑥ 問題集
	0.5	後期中間試験
	7	吸排気装置① 過給機装置
	8	吸排気装置② 慣性吸気装置
	9	吸排気装置③ 排気ガス後処理装置
	10	吸排気装置④ 問題集
	11	予熱装置① 電熱式インテーク・エア・ヒータ
	12	予熱装置② グロープラグ
	13	予熱装置③ 問題集
	14	分野別問題集①
	15	分野別問題集②
	16	分野別問題集③
	17	分野別問題集④
	0.5	後期期末試験
	成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	23	
授業科目	故障診断学シャシA	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	ステアリング装置① 概要
	2	ステアリング装置② ステアリング操作機構
	3	ステアリング装置③ ボール・ナット型
	4	ステアリング装置④ ラック・ピニオン型
	5	ステアリング装置⑤ ステアリング・リンク機構 I
	6	ステアリング装置⑥ ステアリング・リンク機構 II
	0.5	後期中間試験
	7	パワー・ステアリング① 概要
	8	パワー・ステアリング② 種類
	9	パワー・ステアリング③ 油圧式パワー・ステアリング
	10	パワー・ステアリング④ リンケージ・コンバインド型
	11	パワー・ステアリング⑤ インテグラル型
	12	パワー・ステアリング⑥ オイル・ポンプ及び配管
	13	パワー・ステアリング⑦ 電動パワー・ステアリング I
	14	パワー・ステアリング⑧ 電動パワー・ステアリング II
	15	分野別問題集①
	16	分野別問題集②
	17	分野別問題集③
	18	分野別問題集④
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	24	
授業科目	故障診断学シヤシB	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	シヤシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シヤシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	ボデー内装① シート、シートベルト
	2	ボデー内装② エア・バッグ
	3	防錆・塗装①
	4	防錆・塗装②
	5	防振・防音・遮熱①
	6	防振・防音・遮熱②
	0.5	後期中間試験
	7	分野別問題集 ブレーキ装置
	8	分野別問題集 ブレーキ装置
	9	分野別問題集 ブレーキ装置
	10	分野別問題集 A B S
	11	分野別問題集 A B S
	12	分野別問題集 予防安全装置
	13	分野別問題集 ホイール及びタイヤ
	14	分野別問題集 ホイール及びタイヤ
	15	分野別問題集 ホイール及びタイヤ
	16	分野別問題集 フレームとボデー
	17	分野別問題集 フレームとボデー
	18	分野別問題集 フレームとボデー
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	25	
授業科目	故障診断学電装品	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	自動車電気装置に関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車電気装置に関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1 空気調和装置① 概要 2 空気調和装置② エアミックス方式、リヒート方式 3 空気調和装置③ 構造、コンプレッサ 4 空気調和装置④ コンデンサ、レシーバ、エバポレータ 5 空気調和装置⑤ オートA/C、マニュアルA/C 6 空気調和装置⑥ 制御 0.5 後期中間試験 7 電気装置の配線① 概要 8 電気装置の配線② 構造機能 CAN通信Ⅰ 9 電気装置の配線③ 構造機能 CAN通信Ⅱ 10 電気装置の配線④ 構造機能 CAN通信Ⅲ 11 電気装置の配線⑤ 問題集 12 安全装置及び付属装置① 概要 13 安全装置及び付属装置② SRSエアバッグⅠ 14 安全装置及び付属装置③ SRSエアバッグⅡ 15 安全装置及び付属装置④ シートベルトⅠ 16 安全装置及び付属装置⑤ シートベルトⅡ 17 安全装置及び付属装置⑥ ナビゲーション 18 安全装置及び付属装置⑦ ナビゲーション 0.5 後期期末試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	26	
授業科目	特殊機構	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	自動車に用いられる特殊装置を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に用いられる特殊装置を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	過給装置
	2	可変吸気装置
	3	環境問題の現状と改善①
	4	環境問題の現状と改善②
	5	自動車の省エネ技術①
	6	自動車の省エネ技術②
	7	自動車の省エネ技術③
	8	自動車の省エネ技術④
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	27	
授業科目	材料・燃料・油脂	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	材料①
	2	材料②
	3	材料③
	4	材料④
	5	燃料・油脂①
	6	燃料・油脂②
	7	燃料・油脂③
	8	燃料・油脂④
	0.5	前期中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	28	
授業科目	自動車関係法令	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	21.6時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
	1	概要 道路運送車両法の保安基準
	2	自動車の構造
	3	自動車の装置① 原動機
	4	自動車の装置② 車体関係
	5	自動車の装置② 車体関係
	0.5	前期中間試験
	6	自動車の装置③ 公害防止装置
	7	自動車の装置③ 公害防止装置
	8	自動車の装置④ 灯火関係
	9	自動車の装置④ 灯火関係
	10	自動車の装置⑤ 運転装置
	11	自動車の装置⑤ 運転装置
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	29	
授業科目	自動車関係法令	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	21.6時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
	1	概要 道路運送車両法
	2	自動車の種類
	3	登録制度① 自動車登録ファイル
	4	登録制度② 種類
	5	保安基準
	0.5	前期中間試験
	6	点検整備制度① 乗用車
	7	点検整備制度① 乗用車
	8	点検整備制度② 貨物車
	9	検査制度①
	10	検査制度②
	11	認証制度・指定制度
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	30	
授業科目	工作作業実習	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	工作道具、工具を使用し金属加工を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	安全作業を身に着け、工作道具、工具を使用できるようになる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	ケガキ作業
	3	やすり掛け作業
	4	やすり掛け作業
	5	やすり掛け作業
	6	やすり掛け作業
	7	やすり掛け作業
	8	やすり掛け作業
	9	仕上げ作業
	10	穴あけ作業
	11	ドリル歯研ぎ作業
	12	スタッドボルト作成
	13	タップ作業
	14	締め付けトルクについて
	15	ねじ折作業
	16	逆タップについて
	17	逆タップについて
	18	折れたねじの取り外し
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	31	
授業科目	基本作業実習 I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	自動車の基本的な整備技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の基本的な整備技術を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	車両名称
	3	車両名称
	4	車両取り扱いについて
	5	リフト取り扱い・使用前点検
	6	リフト取り扱い
	7	リフト取り扱い
	8	タイヤ取り外し
	9	工具について
	10	タイヤ取り外し
	11	タイヤ取り外し
	12	KYT講習
	13	KYT講習
	14	KYT講習
	15	KYT講習
	16	日常点検
	17	日常点検
	18	日常点検
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	32	
授業科目	基本作業実習Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	テスターの組み立てと電気の測定方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	電気の測定が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	アナログサーキットテスタ作成
	3	アナログサーキットテスタ作成
	4	アナログサーキットテスタ作成
	5	電気の流れについて
	6	回路構成部品について
	7	回路の作成
	8	回路の作成
	9	電圧の計算・測定
	10	電圧の計算・測定
	11	電流の計算・測定
	12	電流の計算・測定
	13	抵抗の計算・測定
	14	抵抗の計算・測定
	15	測定復習
	16	測定復習
	17	配線の加工（ギボシの使い方）
	18	カプラから配線の取り外し
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	33	
授業科目	基礎自動車整備実習A I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	自動車のリフト作業とブレーキ関係を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車のリフト作業が出来、ブレーキ関係の整備を理解する。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	リフト操作復習
	3	エンジンオイル交換作業
	4	ガレージジャッキについて・使用前点検
	5~8	ジャッキアップ作業
	9~10	タイヤローテーション・バランス取り
	11~12	ジャッキアップ作業確認試験
	13~18	マスタシリンダについて (学) ・マスタシリンダ脱着・OH
	19~26	ドラムブレーキについて (学) ・ドラムブレーキ脱着・OH
	27~32	ディスクブレーキについて (学) ・ディスクブレーキ脱着・OH
	33~34	ブレーキにエア抜き作業
	35~36	ブレーキ装置関係点検要領
	37~38	真空式制動倍力装置について (学)
	39~40	パーキングブレーキについて・パーキングブレーキ調整
	41~43	復習
	44~48	ブレーキ分解作業確認試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	34	
授業科目	基礎自動車整備実習AⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	自動車のエンジンに関する整備と測定を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンの整備と測定が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	エンジン取り外し
	3~6	シリンダヘッドについて(学)・シリンダヘッド分解・燃焼室について(学)
	7~10	ノギスについて・マイクロメータについて・バルブシステム測定
	11~12	シリンダヘッド構成部品について(学)・点検・清掃・組立
	13~20	エンジン本体分解・発電装置説明・変速機説明・ガスケット、オイルシール説明
	21~24	測定作業(キャリパゲージ含)・カムリフトについて・圧縮比、ピストンスピードについて(学)
	25~26	測定作業復習
	27~28	ノギス・マイクロメータ・キャリパゲージ確認試験
	29~32	エンジン組み立て・シクネスゲージについて・バルブクリアランス、バルブリフトについて・バルブクリアランス調整
	33~34	エンジン車両搭載・チェーン調整・ブレーキ調整
	35~38	キャブレータについて・キャブレータ清掃
	39~41	エンジン始動・エンジン回転測定・調整
	42	試運転
	43~47	復習
	48	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	35	
授業科目	基礎自動車整備実習AⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	自動車電気装置の整備について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車電気装置に関する整備が	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~10	バッテリーについて(学)(取り外し・充電・ブースターケーブル含)
	11~18	スタータについて(取り外し含)
	19	配線図について
	20~22	スタータ回路測定・スイッチ、リレーについて
	23~34	オルタネータについて(取り外し含)・オシロスコープについて(アナログ)・波形測定
	35~44	点火装置について
	45~48	オルタネータ波形測定、スタータ作動点検確認試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	36	
授業科目	基礎自動車整備実習B I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	エンジンの分解組み付けを行いエンジンに関する整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンに関する整備方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~5	エンジン作業台取り付け・バルブタイミングについて・シリンダヘッド分解
	6~7	バルブについて・バルブスプリングについて・ラッシュアジャスタについて
	8~10	ダイヤルゲージについて・カムシャフト、バルブ測定・カムリフト、バルブリフト復習
	11~12	バルブすり合わせ作業・シリンダヘッド組み付け
	13~18	エンジン本体分解
	19~20	潤滑装置について
	21~22	ピストン、ピストンリングについて・コンロッド、クランクシャフトについて
	23~26	シリンダゲージについて・シリンダ測定・圧縮比、ピストンスピード復習
	27~30	ピストン、クランクシャフト、コンロッド、オイルクリアランス測定・測定練習
	31~32	測定確認試験
	33~36	エンジン組み立て
	37~38	エンジン試運転
	39~43	タイミングベルト練習、測定練習
44~47	タイミングベルト、測定確認試験	
48	まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	37	
授業科目	基礎自動車整備実習BII	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	82.8時間	
授業コマ数	46コマ	
授業概要	自動車の法令点検について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	日常点検復習
	3~14	12ヶ月点検
	15~18	12ヶ月点検 (ジャッキ)
	19~20	確認試験
	21~22	ステアリング、ステアリングギヤボックス取り外し
	23~24	ステアリングギヤボックスについて (学)
	25~26	ステアリングギヤボックス取り付け
	27~28	パワステオイルエア抜き作業・ハンドル調整・トー調整
	29~30	サスペンション取り外し、分解
	31~36	ショックアブソーバについて・アライメントについて
	37~38	タイヤについて・タイヤ交換作業
	39~40	アライメント作業確認試験
	41~46	12ヶ月点検復習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	38	
授業科目	基礎自動車整備実習BIII	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	82.8時間	
授業コマ数	46コマ	
授業概要	自動車のシャシ関係部品の分解、組付けを行う	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	シャシ関係の構造を理解し整備できるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	トランスミッション取り外し
	5~8	クラッチについて(学)・クラッチ取り付け(センター出し含)
	9~12	トランスミッション取り付け
	13~18	単体トランスミッション分解・シンクロナイズ機構について(学)
	19~20	ギア比について・ギア比に関する計算
	21~22	単体トランスミッション組み立て
	23~24	ディファレンシャル取り外し
	25~26	プロペラシャフトについて
	27~28	ディファレンシャル組み付け
	29~32	単体ディファレンシャル分解(歯当たり点検、バックラッシュ測定含)
	33~36	単体ディファレンシャル組み立て(歯当たり、バックラッシュ、プレロード調整含)
	37~38	ギア比について・ギア比に関する計算復習
39~40	ドライブシャフト取り外し、組み付け	
41~43	ドライブシャフトについて、ブーツ交換作業	
44~46	まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	39	
授業科目	基礎自動車整備実習BIV	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	39.6時間	
授業コマ数	22コマ	
授業概要	自動車のエンジンに関する整備を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車のエンジンに関する整備を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~6	シリンダヘッド取り外し
	7~10	シリンダヘッドヘッドOH
	11~16	シリンダヘッド取り付け
	17~18	冷却水エア抜き作業
	19~22	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	40	
授業科目	基礎自動車整備実習BV	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	39.6時間	
授業コマ数	22コマ	
授業概要	自動車の電気回路について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の電気回路を理解し測定が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	回路図見方復習(学)
	3	スイッチについて・リレーについて復習(学)
	4	ブレーキ回路について・測定(学)
	6~8	ヘッドライト回路について・測定(学)
	9~10	バックランプ回路について・測定(学)
	11~12	ブレーキ回路、ヘッドランプ回路、バックランプ回路故障診断(学)
	13	故障診断確認試験
	14~17	ハイブリッドについて
	18~22	低圧電気講習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	41	
授業科目	基礎自動車整備実習BVI	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	39.6時間	
授業コマ数	22コマ	
授業概要	エンジンの制御を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンの制御を理解し、故障診断が出来るようになる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	センサ・ECU・アクチュエータについて
	5~6	電子制御式燃料噴射装置について
	7~8	フューエルポンプについて
	9~11	サーキットオープニングリレーについて・プレッシャレギュレータについて
	12~14	インジェクタについて
	15~16	オシロスコープ復習（アナログ）
	17~18	噴射波形測定
	19~20	アナログオシロスコープ使用確認試験
	21~22	燃料系統回路測定・故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	42	
授業科目	応用自動車整備実習A I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	77.4時間	
授業コマ数	43コマ	
授業概要	2輪整備とトランスミッションについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	2輪車とオートマチックトランスミッションについて構造を理解する。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~10	2輪整備①車体
	11~20	2輪整備①エンジン
	21~27	オートマチックトランスミッション分解
	28~38	オートマチックトランスミッション 構造理解 組付け
	38~43	CVTについて
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	43	
授業科目	応用自動車整備実習AⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	77.4時間	
授業コマ数	43コマ	
授業概要	自動車の電気装置について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	デジタルテスタを使用して電気装置の測定と故障診断が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~3	デジタルテスタ作成
	4~12	電子回路
	13	配線図見方復習
	14	電源回路
	15~16	ヘッドランプ回路
	17~18	ブレーキ・バックランプ回路
	19~20	パワーウィンドウ回路
	21~22	ワイパー回路
	23~43	故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	44	
授業科目	応用自動車整備実習B I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	68.4時間	
授業コマ数	38コマ	
授業概要	車体からエンジン、トランスミッション、ACの脱着作業を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンやトランスミッションの取り外し方法を習得する。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~9	エンジン・トランスミッション取り外し
	10~14	エンジン・トランスミッション構造確認
	14~24	エンジン・トランスミッション取り付け
	25~29	エアコンデショナーの取り外し
	29~32	エアコンデショナーの構造確認
	33~38	エアコンデショナーの取り付け
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	45	
授業科目	応用自動車整備実習BII	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	70.2時間	
授業コマ数	39コマ	
授業概要	自動車の電子制御を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	オシロスコープを用いた測定と故障診断が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	電子制御式燃料噴射装置復習
	3~8	センサ・アクチュエータについて
	9	アナログオシロスコープ復習
	10	デジタルオシロスコープについて
	11~16	波形測定
	17	故障診断進め方
	18	外部診断機使い方
	19~39	故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	46	
授業科目	応用自動車整備実習BIII	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	70.2時間	
授業コマ数	39コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	ジーゼルエンジンの仕組みを理解し整備方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~13	ジーゼルエンジン分解
	14~15	ジーゼルエンジン構造
	11~16	ジーゼルエンジン組付け
	17~18	コモンレールについて
	19~20	余熱装置について
	21~26	噴射ポンプ分解
	27~28	噴射ポンプ構造
	29~39	噴射ポンプ組付け
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	47	
授業科目	自動車検査実習	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	75.6時間	
授業コマ数	42コマ	
授業概要	自動車の法令点検を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検整備と自動車検査が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1 2~8 9~20 21~28 29~32 33~42	概要 12ヶ月定期点検復習 24ヶ月定期点検（乗用） 12ヶ月定期点検（貨物） エアブレーキ・補助ブレーキについて 検査
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	48	
授業科目	総合自動車整備実習	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	43.2時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	自動車整備士の総合的な技術を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	新人の自動車整備士として働ける技術レベルになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	測定技術 エンジン整備技術
	5~8	シャシー整備技術
	9~12	故障診断技術①
	13~16	故障診断技術②
	17~20	法令点検技術① エンジンルーム関係 接客応対
	21~24	法令点検技術② シャシ関係
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	49	
授業科目	キャリアデザイン1	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	52.2時間	
授業コマ数	29コマ	
授業概要	就職に対する準備を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	就職希望企業選定、履歴書作成、面接対応力修得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	概要
	2	自己分析①
	3	自己分析②
	4	自己分析③
	5	学校長講話
	6	社会人基礎講座（企業連携）
	7	履歴書作成①
	8	履歴書作成②
	9	履歴書作成③
	10	面接指導①
	11	面接指導②
	12	面接指導③
	13~29	企業説明会
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	50	
授業科目	パソコン実習	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	表計算ソフトの使用方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	E X C E Lを使用できるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシート、ブックの作成について
	2	セルのデータ管理について
	3	数式・関数について①
	4	数式・関数について②
	5	グラフの作成
	6	課題①
	7	課題②
	8	課題③
	0.5	試験
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	51	
授業科目	消防法	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 大澤亮大 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	危険物取り扱いについて学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	危険物取扱者乙種第4類に合格する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	危険物の種類と性質
	2	基礎化学①
	3	基礎化学②
	4	火災予防と消化方法①
	5	火災予防と消化方法②
	6	危険物の法令①
	7	危険物の法令②
	8	危険物の法令③
	0.5	前期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	52	
授業科目	エンジン電子制御 I	
実務家教員授業	授業担当者: 大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性: 自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30.6	
授業コマ数	17	
授業概要	電気電子理論 測定機器 整備作業機器 エンジン電子制御	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電気回路と電子回路の基礎を学びセンサについて理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	エンジン電子制御 P7~119	
授業計画	1 P7~12 電気回路 電子回路 2 P13~19 断線 ショート 3 P20~27 測定方法 サーキットテストの概要 4 P28~35 サーキットテストの規格 性能表 5 P35~42 基本測定技術 合成抵抗 6 P43~50 交流電源 測定方法 7 P51~58 半導体の点検 オシロスコープ基礎 8 P58~66 オシロスコープによる信号波形 外部診断機 9 復習 中間試験 10 P67~75 高度整備技術概要 電源回路 11 P76~85 センサ基礎 論理信号センサ 12 P86~92 水温センサ バキュームセンサ 13 P93~100 エアフロメータ スロットルポジションセンサ 14 P101~108 周波数センサ 15 P109~119 周波数センサ ノックセンサ O ₂ センサ 16 分野別問題 17 復習 期末試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	53	
授業科目	エンジン電子制御Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	19.8	
授業コマ数	11	
授業概要	エンジン電子制御	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エンジン電子制御のアクチュエータについて理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	エンジン電子制御120～204	
授業計画	1	P 120～127 アクチュエータの基礎
	2	P 128～136 プランジャ式ソレノイドバルブ
	3	P 137～145 DCブラシモータ
	4	P 146～150 DCブラシモータ
	5	復習 中間試験
	6	P 151～159 フューエルインジェクタ
	7	P 160～169 インジェクションコイル DCブラシレスモータ
	8	P 170～182 リニアソレノイドバルブ
	9	P 182～192 リニアDCブラシレスモータ
	10	P 193～204 リニアDCブラシレスモータ
	11	分野別問題 期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	54	
授業科目	エンジン電子制御Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	4年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	19.8	
授業コマ数	11	
授業概要	エンジン電子制御	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	CAN通信、ECU制御、高度診断技術について理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	エンジン電子制御P205～283	
授業計画	1	P205～212 CAN通信基礎
	2	P213～221 CAN通信信号波形 シングルエンドの点検
	3	P222～229 ディファレンシャルエンドの点検 終端抵抗の点検
	4	P230～237 ガソリンエンジンのECU制御
	5	P238～244 ガソリンエンジンのECU制御
	6	復習 中間試験
	7	P245～256 ジーゼルエンジンのECU制御
	8	P257～268 高度故障診断技術
	9	P269～283 高度故障診断技術
	10	分野別問題
	11	総復習 期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	55	
授業科目	シャシ電子制御 I	
実務家教員授業	授業担当者: 大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性: 自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3	
授業コマ数	8.5	
授業概要	シャシ電子制御	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電子制御式オートマチックトランスミッションについて理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	シャシ電子制御 P9~86	
授業計画	1	P9~19 トランスミッション基礎 論理信号センサ
	2	P20~30 シフトポジションセンサ 油温センサ
	3	P31~40 スロットルポジションセンサ 周波数センサ
	4	P41~49 スイッチング駆動アクチュエータ
	5	P50~62 リニア駆動アクチュエータ
	6	P63~73 ECU制御 故障探求の進め方
	7	P74~86 高度故障診断技術
	8	分野別問題
	9	復習 中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	56	
授業科目	シャシ電子制御Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	19.8	
授業コマ数	11	
授業概要	シャシ電子制御	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	E P S、A B Sについて理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	シャシ電子制御 P 87～197	
授業計画	1	P 87～98 電動式パワーステアリング 機械式モード切替スイッチ
	2	P 99～105 電子式モード切替スイッチ
	3	P 106～119 トルクセンサ
	4	P 120～128 ブラシモータ
	5	P 129～135 ブラシレスモータ
	6	中間試験 復習
	7	P 136～145 E P S制御 高度故障診断技術
	8	P 147～168 A B Sセンサ
	9	P 169～185 A B Sアクチュエータ
	10	P 186～197 A B S制御 高度故障診断技術
	11	分野別問題 期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	57	
授業科目	シャシ電子制御Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	4年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	19.8	
授業コマ数	11	
授業概要	シャシ電子制御	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	オートエアコンについて理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	シャシ電子制御P199～281	
授業計画	1	P199～214 オートエアコンディショナ 圧力センサ
	2	P215～221 温度センサ
	3	P222～234 リサーキュレーションアクチュエータ
	4	P235～241 リサーキュレーションアクチュエータ
	5	P242～249 モードアクチュエータ
	6	中間試験 復習
	7	P250～256 エアミックスアクチュエータ
	8	P257～268 ブロアモータ バスライン
	9	P269～281 オートエアコンECU 高度診断技術
	10	分野別問題
	11	シャシ電子制御総復習 期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	58	
授業科目	新技術 I	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30.6	
授業コマ数	17	
授業概要	自動車の構造 性能	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ハイブリッド車、CNG自動車、筒内噴射式ガソリンエンジンについて理解す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	新技術 P 11～80	
授業計画	1	P 11～16 ハイブリッド車 概要 構成
	2	P 17～23 構成 インバータ
	3	P 24～28 コンバータ 制御
	4	P 29～36 点検 整備
	5	分野別問題
	6	P 37～40 CNG自動車 基礎 概要
	7	P 41～46 構成部品の構造 機能
	8	P 47～48 燃料系システム 一部分野別
	9	中間試験 復習
	10	P 49～54 CNG自動車 点検 整備
	11	P 55～64 点検 整備
	12	P 65～70 筒内噴射式ガソリンエンジン 概要 構造 機能
	13	P 70～74 インジェクタ 吸気装置
	14	P 75～77 電子制御スロットル装置
	15	P 78～80 排出ガス浄化装置
	16	分野別問題
	17	復習 期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	59	
授業科目	新技術Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	19.8	
授業コマ数	11	
授業概要	新技術	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	コモンレール式高圧燃料噴射システム、車両安定制御装置について理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	新技術P81～136	
授業計画	1	P81～84 コモンレール式高圧燃料噴射システム 概要 特徴
	2	P85～89 燃料噴射制御 点検 整備
	3	P93～97 無段変速機 概要 特徴 構造 機能
	4	P98～105 変速機構 油圧制御機構
	5	P106～112 制御機構 点検 整備
	6	中間試験 分野別問題
	7	P113～120 車両安定制御装置 概要 構造 機能
	8	P121～128 トラクションコントロール
	9	P129～136 V S C S
	10	分野別問題
	11	復習 期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	60	
授業科目	新技術Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	4年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	19.8	
授業コマ数	11	
授業概要	新技術	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	エアバッグについて理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	新技術P137～176 まとめ	
授業計画	1	P137～142 エアバッグ シートベルト 概要 エアバッグ 構造
	2	P143～146 シートベルト SRS ECU
	3	P147～150 システムの作動過程
	4	P151～158 整備
	5	P159～163 点検整備のポイント
	6	中間試験 復習
	7	P164～167 車内作動処理作業手順
	8	P168～174 車外作動処理作業手順
	9	P175～176 車外作動処理作業手順 復習
	10	分野別問題
	11	総復習 期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	61	
授業科目	環境安全	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3	
授業コマ数	8.5	
授業概要	環境保全 安全管理	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	環境保全・安全管理について理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	環境安全 P141～P187	
授業計画	1	P141～146 地球規模の環境保全と必要性 資源の有効利用
	2	P147～152 産業廃棄物 マニフェスト制度 自動車リサイクル法
	3	P153～160 自動車リサイクル法 エアバッグ フロン
	4	P161～163 バッテリー 冷却水 P R T R法
	5	P165～169 固定施設における環境保全
	6	P173～177 安全管理の意義 災害のあらまし
	7	P177～183 災害の防止
	8	P184～187 防火防災 救急処置 分野別問題
	9	中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	62	
授業科目	図面Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3	
授業コマ数	8.5	
授業概要	3DCAD	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	3DCAD製作ソフトウェアの操作方法習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	PC利用	
授業計画	1	スケッチ練習①
	2	スケッチ練習②
	3	練習課題①
	4	練習課題②
	5	練習課題③
	6	練習課題④
	7	3Dプリンタ①
	8	3Dプリンタ②
	9	課題作成
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	63	
授業科目	自動車工学Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3	
授業コマ数	8.5	
授業概要	電気回路	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電気回路について理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記	プリント	
授業計画	1	オームの法則①
	2	オームの法則②
	3	工学計算①（減速比、変速比）
	4	工学計算②（車速、駆動力）
	5	電子回路計算①（センサ）
	6	電子回路計算②（センサ）
	7	電子回路故障探求（断線、短絡）
	8	総復習
	9	中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	64	
授業科目	自動車工学IV	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3	
授業コマ数	8.5	
授業概要	材料・燃料・潤滑剤（振動 騒音）	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	振動・騒音について学び、故障診断方法を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	シャシP 283～P 367	
授業計画	1	P 283～293 振動と音 振動と騒音の防止
	2	P 294～304 計測機器 振動騒音と低減の対応
	3	P 305～315 振動騒音と低減の対応
	4	P 316～327 振動騒音と低減の対応
	5	P 328～342 振動騒音と低減の対応 振動騒音現象のまとめ
	6	P 343～354 故障診断方法
	7	P 355～367 故障診断方法
	8	分野別問題
	9	期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	65	
授業科目	自動車概論	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3	
授業コマ数	8.5	
授業概要	電子回路工作	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	電子回路について理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	キッドで遊ぼう	
授業計画	1	2進数について
	2	論理回路
	3	デジタルIC① (NOT回路)
	4	デジタルIC② (NOT回路)
	5	デジタルIC③ (発振回路)
	6	デジタルIC④ (NAND回路)
	7	デジタルIC⑤ (NOR回路)
	8	オシロスコープによる回路測定
	9	課題作成
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	66	
授業科目	サービスマネージメント I	
実務家教員授業	授業担当者: 大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性: 自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3	
授業コマ数	8.5	
授業概要	プレゼンテーション教育	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション	
達成目標	企業研究及びプレゼンテーション能力習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	PC利用	
授業計画	1	企業研究
	2	企業研究
	3	企業研究
	4	PWの使用方法①
	5	PWの使用方法②
	6	プレゼンテーション資料作成
	7	プレゼンテーション資料作成
	8	発表練習
	9	プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	67
授業科目	サービスマネジメントⅡ
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究科
履修年次	3年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	32.4
授業コマ数	18
授業概要	職業訓練指導員 二輪
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	職業訓練指導員及び二級二輪自動車整備士資格試験合格
教科書	配布プリント・資料
特記	外部試験
授業計画	1 二級二輪自動車過去問解説 2 二級二輪自動車過去問解説 3 二級二輪自動車過去問解説 4 二級二輪自動車過去問解説 5 二級二輪自動車過去問解説 6 二級二輪自動車過去問解説 7 二級二輪自動車模擬試験① 8 二級二輪自動車模擬試験② 9 二級二輪自動車模擬試験③ 10 職業訓練指導員 職業訓練原理 11 職業訓練指導員 教科書指導 12 職業訓練指導員 安全衛生 13 職業訓練指導員 訓練生の心理 14 職業訓練指導員 生活指導 15 職業訓練指導員 関係法令 16 職業訓練指導員 事例研究 17 職業訓練指導員 練習問題① 18 職業訓練指導員 練習問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	68	
授業科目	サービスマネジメントⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3	
授業コマ数	8.5	
授業概要	就職対策	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	履歴書作成及びビジネスマナー習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	就職の心構え
	2	自己PR、自己分析
	3	志望動機
	4	ビジネスマナー
	5	筆記試験対策（一般常識、適性検査、作文）
	6	筆記試験対策（一般常識、適性検査、作文）
	7	応募書類準備
	8	電話対応
	9	内定（お礼状書き方）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	69	
授業科目	サービスマネージメントⅣ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	4年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	48.6	
授業コマ数	27	
授業概要	1級自動車整備士演習	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一級自動車整備研究科小型自動車整備士合格のための実力養成	
教科書	配布プリント・資料	
特記	分野別問題集	
授業計画	1	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (電源回路①)
	2	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (電源回路②)
	3	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (測定機器①)
	4	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (測定機器②)
	5	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (測定機器③)
	6	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (エンジンセンサ①)
	7	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (エンジンセンサ②)
	8	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (エンジンセンサ③)
	9	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (エンジンセンサ④)
	10	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (エンジンセンサ⑤)
	11	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (エンジンアクチュエータ①)
	12	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (エンジンアクチュエータ②)
	13	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (エンジンアクチュエータ③)
	14	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (エンジンアクチュエータ④)
	15	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (エンジンアクチュエータ⑤)
	16	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (CAN通信①)
	17	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (CAN通信②)
	18	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (ECU制御①)
	19	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (ECU制御②)
	20	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (ECU制御③)
	21	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (筒内噴射式①)
	22	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (筒内噴射式②)
	23	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (筒内噴射式③)
	24	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (CNG①)
	25	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (CNG②)
	26	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (CNG③)
	27	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (CNG④)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	70	
授業科目	サービスマネージメントV	
実務家教員授業	授業担当者: 大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性: 自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	4年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	64.8	
授業コマ数	36	
授業概要	1級自動車整備士演習	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一級自動車整備研究科小型自動車整備士合格のための実力養成	
教科書	配布プリント・資料	
特記	分野別問題集	
授業計画	1	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (AT①)
	2	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (AT②)
	3	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (AT③)
	4	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (AT④)
	5	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (EPS①)
	6	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (EPS②)
	7	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (EPS③)
	8	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (ABS①)
	9	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (ABS②)
	10	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (ABS③)
	11	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (車両安定装置①)
	12	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (車両安定装置②)
	13	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (車両安定装置③)
	14	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (オートエアコン①)
	15	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (オートエアコン②)
	16	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (オートエアコン③)
	17	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (オートエアコン④)
	18	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (振動騒音①)
	19	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (振動騒音②)
	20	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (振動騒音③)
	21	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (振動騒音④)
	22	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (振動騒音⑤)
	23	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (コモンレール①)
	24	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (コモンレール②)
	25	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (コモンレール③)
	26	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (CVT①)
	27	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (CVT②)
	28	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (エアバッグ①)
	29	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (エアバッグ②)
	30	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (故障診断技術①)
	31	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (故障診断技術②)
	32	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (故障診断技術③)
	33	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (故障診断技術④)
	34	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (故障診断技術⑤)
	35	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (故障診断技術⑥)
	36	一級小型自動車整備士分野別問題集解説 (故障診断技術⑦)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	71	
授業科目	総合診断	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	4年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3	
授業コマ数	8.5	
授業概要	受付・問診・診断	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	総合診断について理解し、問診を行えるようにする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	総合診断 P9～137	
授業計画	1	P9～35 自動車整備に関する総合診断
	2	P36～47 使用者の保守管理の必要性
	3	P48～60 改造等に対する対処と安全の確保
	4	P61～66 応酬話法 基礎
	5	P67～87 定期点検整備ケース1
	6	P88～102 定期点検整備ケース2
	7	P103～119 車検整備ケース
	8	P120～137 故障整備ケース
	9	中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	72
授業科目	自動車法令Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	一級自動車整備研究科
履修年次	4年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	15.3
授業コマ数	8.5
授業概要	自動車法令Ⅱ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一級小型自動車整備士試験合格のための法令知識習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	法令教科書 全般
授業計画	1 道路運送車両法① 2 道路運送車両法② 3 道路運送車両法③ 4 道路運送車両法④ 5 保安基準① 6 保安基準② 7 保安基準③ 8 保安基準④ 9 中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	73	
授業科目	1級自動車整備作業 I	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	144	
授業コマ数	80	
授業概要	法令点検を基本とした一般的な自動車整備作業	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	正確で効率的な作業技術の習得。共同作業におけるコミュニケーション能力の習得。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	4年次に実施する体験実習を実施するにあたり十分な技術習得を含む	
授業計画	1	導入説明
	2-4	整備記録簿に沿った作業内容の確認。
	5-24	12か月定期点検整備の実施、記録簿の記入（普通乗用車）
	25-36	12か月定期点検整備の実施、記録簿の記入（貨物車）
	37-48	24か月定期点検整備の実施、記録簿の記入（普通乗用車）
	49-60	24か月定期点検整備の実施、記録簿の記入（貨物車）
	61-68	自動車検査ラインを使用した完成検査
	69-72	陸運支局における各種手続きの方法及び検査業務の確認
	73-76	まとめ レポート作成
	77-80	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	使用教材：カローラ、FIT、セレナ、インプレッサ、ワゴンR、テラノ、キャンター、エルフなどの各実習車	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	74	
授業科目	1級自動車整備作業Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	144	
授業コマ数	80	
授業概要	エンジン・トランスミッション・ディファレンシャル等の分解組み立て作業。精密測定。	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	各装置の脱着や、分解組み立てを通じた作業技術の習得。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	導入説明
	2-4	作業内容に沿ったサービスマニュアルの準備と確認
	5-12	エンジンを車両から取り外す
	13-24	エンジン分解及び洗浄、各所計測作業、構造理解
	25-32	エンジン組み立て
	33-40	エンジンを車両に搭載、試運転
	41-44	トランスミッションを車両から取り外す
	45-48	トランスミッション分解及び洗浄、各所計測作業、構造理解
	49-52	トランスミッション組み立て
	53-56	トランスミッションを車両に搭載、試運転
	57-60	ディファレンシャルギア取り外し（FR車）
	61-64	ディファレンシャルギア分解及び洗浄、各所計測作業、構造理解
	65-68	ディファレンシャルギア組み立て、車両へ搭載
	69-72	LSDや、電子制御式のセンターディファレンシャル等の分解、構造理解
	73-76	まとめ レポート作成
	77-80	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	使用教材：ロードスター、ワゴンR、インプレッサ、キャンター、4AFEエンジン、F22エンジン、1GFEエンジン、13Bエンジン、EJ20エンジンなど	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	75	
授業科目	1級自動車整備作業Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	86.4	
授業コマ数	48	
授業概要	金属材料の切断や、穴あけ、溶接など加工技術の習得	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	安全で正確な加工技術の習得。自身で設計した製品を完成させる。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	導入説明
	2-4	制作する製品の検討及び設計
	5-24	金属材料の切断加工、穴あけや切削など設計に沿った部品の加工
	25-40	溶接組み立て作業、電気溶接機及びガス溶接機での安全作業の実施
	41-44	まとめ レポートの作成
	45-48	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	使用教材：高速カッター、電動ドリル、クフインター、ホール盤、早工艇盤、卓上フライス盤、半自動溶接機、TIG溶接機、ガス溶接機などの各種作業機器	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	76	
授業科目	車体整備作業	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	100.8	
授業コマ数	56	
授業概要	車両のボンネットやドアなど単体部品を使用した補修作業。	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	軽微な車両損傷の修復作業技術及び塗装作業技術の習得。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	車体整備科との共同授業	
授業計画	1	導入説明
	2-4	塗装の目的、塗料の機能などの説明
	5-8	下地調整、旧塗膜の除去、フェザーエッジの作り方
	9-16	パテの塗布及び成型作業
	17-20	塗装ガンの操作説明および水を使ったガン運行の練習
	21-24	マスキング作業、脱脂作業
	25-28	サフェーサーの塗布
	29-32	補習箇所の修正
	33-36	上塗り塗料の塗布
	37-40	クリア塗料の塗布
	41-48	ブツ、たれ等の修正、コンパウンドによる磨き作業
	49-52	まとめ レポート作成
	53-56	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	使用教材：ハンマー、ボンネット、ドアパネル、塗装ガン、シンナーや塗料などの有機溶剤類、ポリッシャー、サンドペーパーやマスキングテープなどの各種消耗品	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	77	
授業科目	評価実習・故障原因探求 I	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	72	
授業コマ数	40	
授業概要	電気配線図の正しい活用方法。点検ボードによる各種測定及び故障探求。	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	テスターなどの測定技術習得。測定結果から異常個所を推測することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	導入説明
	2-4	電気配線図の読み方及び活用方法の説明
	4-12	テスターを用いた点検ボードの測定1（正常作動）
	13-28	テスターを用いた点検ボードの測定2（各種故障設定）
	29-32	正常作動時と故障発生時における測定結果の考察
	33-36	まとめ レポート作成
	37-40	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	使用教材：電装品点検ボード、サーキットテスター、	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	78	
授業科目	評価実習・故障原因探求Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	72	
授業コマ数	40	
授業概要	エンジン電子制御装置の基本測定及び制御内容の理解	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	エンジン電子制御装置において使用されているセンサ及びアクチュエータの電気的測定技術の習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	導入説明
	2-8	キャブレータの分解及び構造理解、エンジンが要求する空燃比について
	9-12	電子制御式燃料噴射装置の基本、制御内容の理解
	13-20	各種センサーからの信号電圧の測定（テスターおよびオシロスコープ）
	21-28	各種アクチュエーターへの駆動信号電圧の測定（テスターおよびオシロスコープ）
	29-32	外部診断機を活用したエンジン制御データの読み取り
	33-36	まとめ レポート作成
	37-40	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	使用教材：各種ベンチエンジン、サーキットテスタ、オシロスコープ、外部診断機	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	79	
授業科目	評価実習・故障原因探求Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	72	
授業コマ数	40	
授業概要	エンジン電子制御装置における故障原因探求作業	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	センサ及びアクチュエータに発生する断線短絡などの故障探求技術習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	導入説明
	2-4	車載故障診断装置によるダイアグノーシスコードの読み取りと消去方法の確認
	5-16	各種センサー及びアクチュエータに、断線・短絡、故障の電圧測定作業
	17-28	外部診断機を活用したトラブルシューティングの手法
	29-32	ダイアグノーシスコードが発生しない不具合原因の探求
	33-36	まとめ レポート作成
	37-40	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	使用教材：各種ベンチエンジン、サーキットテスタ、オシロスコープ、外部診断機	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	80	
授業科目	評価実習・故障原因探求IV	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	4年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	93.6	
授業コマ数	52	
授業概要	シヤシ電子制御装置における故障原因探求作業	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	センサ及びアクチュエータに発生する断線短絡などの故障探求技術習得。各装置特有の故障現象の把握	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	導入説明
	2-4	各種センサー及びアクチュエータの電圧測定作業(A/T)
	5-12	各種センサー及びアクチュエータに、断線・短絡、故障の電圧測定作業(A/T)
	13-16	ダイアグノーシスコードが発生しない不具合原因の探求(A/T)
	17-18	各種センサー及びアクチュエータの電圧測定作業(EPS)
	19-20	各種センサー及びアクチュエータに、断線・短絡、故障の電圧測定作業(EPS)
	21-24	各種センサー及びアクチュエータの電圧測定作業(ABS)
	25-32	各種センサー及びアクチュエータに、断線・短絡、故障の電圧測定作業(ABS)
	33-34	各種センサー及びアクチュエータの電圧測定作業(オートエアコン)
	35-38	各種センサー及びアクチュエータに、断線・短絡、故障の電圧測定作業(オートエアコン)
	39-44	冷媒の回収及び充てん作業、ダイアグノーシスコードが発生しない不具合現象の確認
	45-48	まとめ レポート作成
	49-52	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	使用教材：カローラ、FIT、ベンチエンジン各種、サーキットテスタ、オシロスコープ、エアコンガス回収機、真空ポンプ、エアコンガスサービスツール	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	81	
授業科目	評価実習・故障原因探求V	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	4年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	129.6	
授業コマ数	72	
授業概要	シャシ整備における高度整備作業機器の活用	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	4輪アライメントテストの操作及び調整作業技術の習得。振動計による計測とアンバランス修正作業技術の習得。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	期間の途中で体験実習を実施する	
授業計画	1	導入説明
	2-8	車高調整式サスペンションの構成要素の説明(バネレート・全長調整・減衰力)
	9-12	4輪アライメントテストを用いたアライメント測定
	13-24	標準型サスペンションから車高調整式サスペンションへの交換作業及び各種調整作業
	25-36	4輪アライメントテストを用いたアライメントの調整作業
	37-38	振動計の取り扱い方法について
	39-42	振動測定(エンジントルク変動)
	43-46	振動測定(アンバランスのある回転体)
	47-58	アンバランス修正作業の実施
	59-60	騒音計による測定
	61-64	複数の音源の測定と暗騒音の影響について
	65-68	まとめ レポート作成
	69-72	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	使用教材：RX7、ロードスター、ワゴンR、4輪アライメントテスター、車高調整式サスペンション、振動計、騒音計、ベンチエンジン、旋盤	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	82	
授業科目	評価実習・総合診断	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	4年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	129.6	
授業コマ数	72	
授業概要	電子制御式燃料噴射装置の応用。燃料噴射と点火の設定を変更しエンジン特性の変化を観測する	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	エンジン制御方法の変更について習得する。出力測定機器の取り扱いを習得す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	導入説明
	2-4	エンジンコントロールユニットの交換
	5-8	空燃比計の取り付けと作動確認
	9-10	エンジン始動確認
	11-12	エンジン出力測定器の取り扱い説明と設置。
	13-24	燃料噴射量の調整(Dジェトロ)
	25-36	点火時期の調整
	37-48	燃料噴射量の調整(スロットル制御)
	49-60	点火時期の調整
	61-62	水温補正の調整
	63-64	加速時増量補正の調整
	65-68	まとめ レポート作成
	69-72	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	使用教材：AE86、エンジンコンピューター、空燃比計、出力測定器	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	83	
授業科目	体験実習	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	4年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	201.6	
授業コマ数	112	
授業概要	企業内活動における実践的な実習体験	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	企業内における実習を通じて、社会人としての心構えを習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	基本的に内定先企業において実施(実施可能な条件は認証工場であること)	
授業計画	1-36	社内における基本的な立ち振る舞いと仕事の進め方を体験する
	37-72	新車点検や洗車など、入社初期の整備士としての作業を体験する
	73-112	現場社員のサポートを受けながら、法令点検やタイヤ交換などある程度の技術力が必要な作業を体験する
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	84	
授業科目	サービスマネジメント実習 I	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	4年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	36	
授業コマ数	20	
授業概要	体験実習において得た学習内容の資料作成と報告会の実施に伴うプレゼン。	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	情報の取りまとめと報告を行う際の資料作成作業全般。パワーポイントなどの有効活用の仕方を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	導入説明
	2-6	体験実習レポートまとめ
	7-18	プレゼンテーション資料作成
	19-22	発表練習
	23-24	プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考	使用教材：体験実習で作成したレポート	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	85	
授業科目	サービスマネージメント実習Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：大西剛 松本義孝 木山龍昭	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	一級自動車整備研究科	
履修年次	4年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	79.2	
授業コマ数	44	
授業概要	接客における応酬話法	
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得	
達成目標	フロントマンの業務としての応酬話法、問診の手法などを習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	導入説明
	2-4	フロントマンとしての言葉遣い、ふるまい方
	5-6	問診時の必須項目の確認
	7-14	故障診断問診（騒音）
	15-22	故障診断問診（振動）
	23-30	故障診断問診（その他）
	31-38	車両引き渡し、整備内容説明
	39-42	口述試験質問事項対策
	43-44	実習試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		